

ペポパ 水まわりコーティングスプレー 施工マニュアル（賃貸不動産物件向け）

はじめに

本製品は住居の中でも掃除が大変な以下 **4箇所** をスプレー 1 本で施工できるガラスコーティング剤です。



ペポパの特徴

	既存のガラスコーティング	ペポパ水まわりコーティングスプレー
施工手順	専用の塗布用スポンジに液剤を染み込ませ施工範囲に全て塗込みが必要。また指定時間経過後にもれなく拭取り作業が必要。	原則的にスプレーを吹付けるだけで施工完了。そのまま放置でコーティング膜が形成。
作業難易度	専門的な技術が必要 ・拭取り作業実施タイミングがコーティング効果に影響 ・もれなく拭残しなく行わなければならない拭取り作業	カンタン ・スプレーした液剤が乾燥すれば、すべて有効コーティング被膜に ・スプレー後はセルフレベリング*1 効果により、均一な被膜を形成
作業時間	長時間 塗布工程（塗込み）⇒乾燥待ち時間⇒拭取り仕上げ工程	短時間（～10分程度） 原則的に塗布工程（スプレー）のみ
開封後製品ライフ※	使い切り 塗布工程時に容器びん口より液剤が空気に触れる	保管・次回使用可能 エアゾールは密封容器のため液剤は空気に触れない

※：ガラスコーティングは空気中の水分と反応し硬化します

*1：P.2 **施工方法（各所共通事項）**「*6」を参照

安全に関する注意


本製品を使用される際には、本製品 SDS をお読みになり、労働安全衛生ガイドラインに従い個人保護具を着用してください。

下地・前処理・クリーニング

本製品は平滑で汚れのない表面を、長期にわたり傷や汚れから守るコーティング剤です。
 本製品の塗布により既に存在する傷や汚れを隠したり目立たなくする効果はありません。
 従って**本製品の施工は施工対象が原状回復(水まわりクリーニング)後のきれいな状態の上に行ってください。**

- ・施工は乾燥した状態で行います。施工直前に施工対象を水洗い等した場合は、**水分を乾燥させてから施工してください。**
- ・油分など不純物が施工対象に残っているとコーティング剤のハジキやコーティング剤定着不良の原因となります。**施工前は適宜脱脂作業を行ってください。**

取扱いに関する留意事項

	使用前によく振る 最後までムダなく使えます		吹付け回数 吹付け距離	1度塗り*2 対象物から20cm離し吹付け
	使用后、内容物が余ったら軽く 逆さ吹きする (ノズルのクリーニング) ※保存して再び使用できます		吹付け時 気温	寒冷時は人肌程度に温める*3 (推奨)霧化が良くなります
	高温多湿環境で保管厳禁 天地無用・缶横倒し保管厳禁 (詰まりの原因となる) 使用后容器の処分については 各自自治体の指示に従うこと		吹付け後の 拭取り 可能時間	夏：10分 冬：20分
			乾燥時間 (20°C)	指触乾燥：2時間 (水滴が付着した場合は拭上げ必要)*4 硬化：24時間

*2：対象物に均等にスプレーすることを一度塗り、その後一定時間(セッティングタイム)をおき再度スプレーすることを二度塗り、といえます。
 本製品は一度塗り仕上げ仕様です。

*3：温めすぎないこと。温め過ぎると破裂のおそれがあります。

*4：水アカがとれなくなる事があるため、硬化までの間に付着した水滴は速やかに必ず拭取ってください。

施工方法 (各所共通事項)

【施工手順】

- 施工対象から20cm程度の距離を保ち、**セミウエットコート*5**で吹付けします。
 スプレーミストがレベリング*6してツヤある表面になってきます。
- **レベリング*6**してツヤある表面に仕上がったら、コーティングは完了です。作業はこれだけです。
 そのまま乾燥させます。24時間以上、乾燥させてください。

⚠ 施工対象が乾いた状態でコーティングします。水栓からの水タレに注意してください。

⚠ 吹付け量が少なすぎる(ドライコート*5)と表面がレベリングせず、平滑でツヤある面に仕上がりません。
 そのため、乾燥後のコーティング効果も十分発揮されません。一方、吹付け量が多い(ウエットコート*5)と
 タレたり乾燥時間も長くなります。また、施工対象4箇所にスプレー1本で足りなくなる場合があります。
 はじめて使用される際は、まず小さい面積で試しに吹付け、レベリング*6の感覚をつかんでください。
 塗込む必要はありません。



*5

ドライコート

スプレーミストの粒が見える

セミウエットコート

スプレーミストが重なり少しツヤが出ている

ウエットコート

表面が液状になりツヤツヤになっている

*6

塗布面のレベリング

吹付けた表面の凹凸が低くなる
 ならかになっていくこと

施工方法 (各所共通事項)

🔄 クロームメッキ部へのコーティング

クロームメッキの水栓や、鏡面仕上げの金属などに施工した際、虹ムラのような模様が現れることがあります。これは薄膜干渉という光学現象で、コーティングの施工不良ではありません。この虹ムラが気になる場合は、吹付け後 10 分おいたあと付属のクロスで拭取りをし、ムラを除去します。

【施工時に起こりうるアクシデントや不具合とその対処法】

- 吹付けをしていたら施工対象に汚れが残っていた。
 - ☛ ① 10 分以内に乾いたクロス (マイクロファイバータオル推奨) で吹付けたコーティング剤を拭取りします。
 - ② 汚れを除去します。
 - ③ 再度吹付けを行ってください。
- 吹付けをしていたら施工対象に水滴がタレてきた。
 - ☛ ① 10 分以内に乾いたクロス (マイクロファイバータオル推奨) で、水滴を拭取りします。
 - ② 水滴が残っていないことを十分確認し、再度吹付けを行ってください。
- コーティング剤がタレてしまった。
 - ☛ ① 10 分以内に乾いたクロス (マイクロファイバータオル推奨) で、タレを拭取りします。
 - ② 再度吹付けを行ってください。

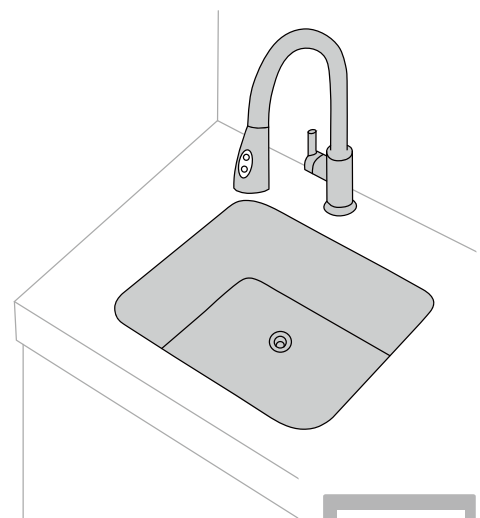
① キッチンのコーティング

シンク **水栓部** をコーティングします。

以下の手順で施工を行ってください。

- (1) **水栓部** にスプレーします。
- (2) **シンク内部** にスプレーします。
- (3) 必要に応じて **水栓部** を拭上げます。

→ P.3 **施工方法 (各所共通事項)** 🔄 **クロームメッキ部へのコーティング** を参照




②洗面台のコーティング

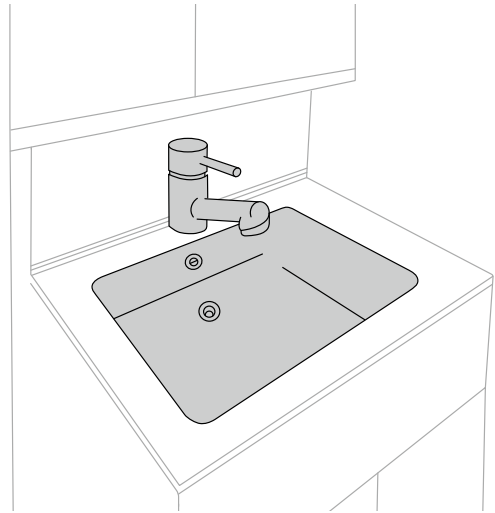
洗面ボウル **水栓部** をコーティングします。

以下の手順で施工を行ってください。

- (1) **水栓部** にスプレーします。
- (2) **洗面ボウル内部** にスプレーします。
- (3) 必要に応じて **水栓部** を拭上げます。

→ P.3 **施工方法 (各所共通事項)**  クロームメッキ部へのコーティング を参照

 賃貸不動産物件の場合、洗面台は脱衣所や浴室スペースに設置されていることが多く、施工時はスプレーミストがこもりやすい環境での作業となります。施工時はスプレーミストの吸込みに注意し、十分な換気を行ってください。




施工動画


②トイレのコーティング

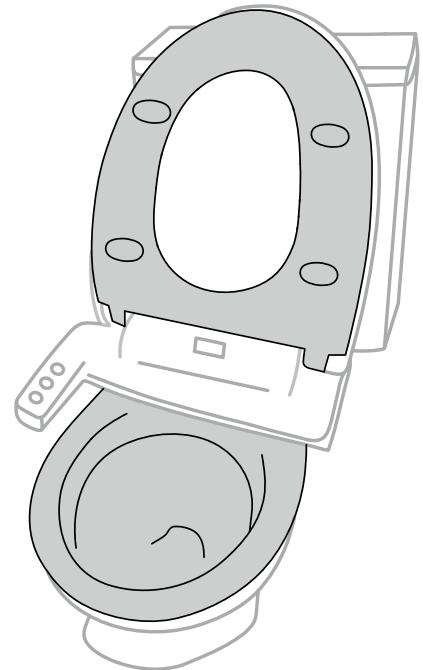
便器 **便座** をコーティングします。

以下の手順で施工を行ってください。

- (1) コーティング施工作業前に、**便器内封水**の水位をできるだけ下げてください。
- (2) **便座** の表側⇒裏側の順にスプレーします。
- (3) **便器内** にスプレーします。

 便器内壁面が乾いていることを確認後作業してください。

 トイレ内での施工はスプレーミストがこもりやすいため、施工時はスプレーミストの吸込みに注意し、十分な換気を行ってください。



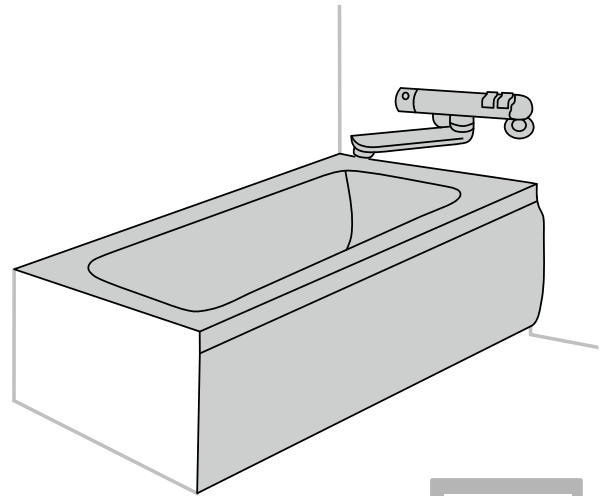
施工動画

④浴室のコーティング

浴槽 **水栓部** をコーティングします。

以下の手順で施工を行ってください。

- (1) **水栓部** にスプレーします。
- (2) **浴槽内部** にスプレーします。
- (3) **浴槽縁部** にスプレーします。
- (4) **エプロン** にスプレーします。
- (5) 必要に応じて **水栓部** を拭上げます。



施工動画

→ P.3 **施工方法 (各所共通事項)**  クロームメッキ部へのコーティングを参照



上記の順に施工することで不慮の施工面への手付き、施工中の水滴付着や汚れ残りなど、アクシデントの対処（吹付け後 10 分以内に拭取り、水滴や汚れを除去したのち再施工）が容易に行なえます。



浴室での施工はスプレーミストがこもりやすいため、施工時はスプレーミストの吸込みに注意し、十分な換気を行ってください。

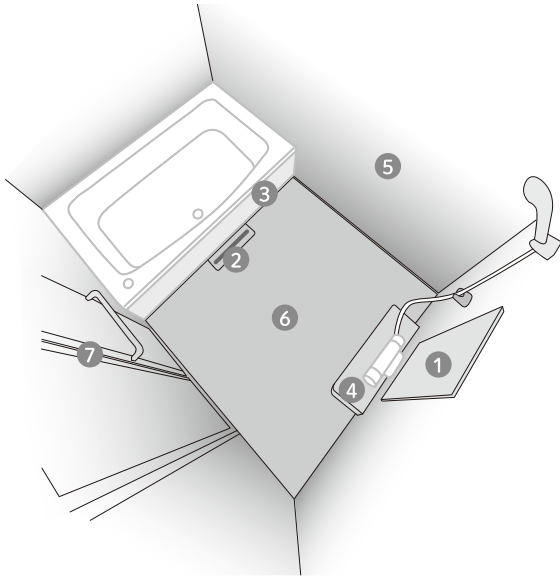
MEMO

⑤ オプション～その他部位へのコーティング

ペポパ水まわりコーティングスプレーは、**1物件分として、前述の4箇所を1本でコーティング**することができます。**スプレーを別途ご用意いただくことで**、以下のような場所への施工も可能です。

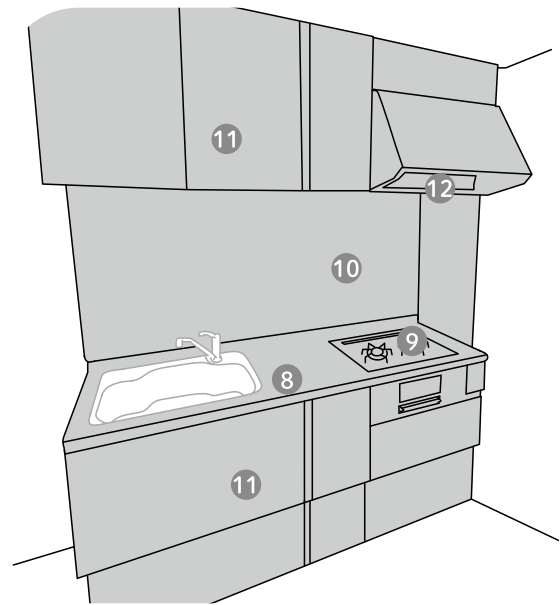
浴室まわり

- ① 鏡
- ② 排水口
- ③ 浴槽エプロン内部 (新築施工)
- ④ 洗い場カウンター
- ⑤ 壁面
- ⑥ 床
- ⑦ ドア



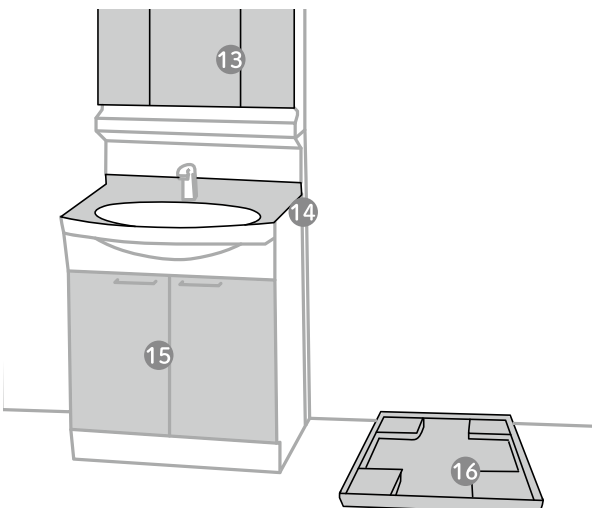
キッチンまわり

- ⑧ カウンター天板
- ⑨ コンロ
- ⑩ キッチンパネル (壁面)
- ⑪ 収納部ドアパネル
- ⑫ レンジフード内外



洗面台まわり

- ⑬ 鏡
- ⑭ 天板
- ⑮ 収納部ドアパネル
- ⑯ 防水パン (洗濯機置場)



トイレまわり

- ⑰ 鏡
- ⑱ 便器外側
- ⑲ ふた (表・裏)
- ⑳ 貯水タンク
- ㉑ 手洗いボウル
- ㉒ ペーパーホルダー

